

情報連絡員総括表（2020年8月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. **中央会・行政への要望**
5. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

○2020年8月のDI値は、前月との比較において全9指標が改善する結果となった。6月に一度改善傾向に向かったものの、先月再び悪化傾向に落ち込んだが、再度改善傾向に回復した。特に「売上高」は先月と比較して20ポイント上昇しており、-60以上になるのは7ヵ月ぶり。

中央会や行政に対しては、怖いのは新型コロナウイルス感染症そのものではなく、**市民の間に浸透した萎縮心理の影響**であることを指摘し、単に感染者数やPCR陽性者数を情報提供するのではなく、症状の程度やその比率などの**細かな情報を提供すべき**との声が寄せられている。

○「製造業」では、前月との比較において、全9指標が改善する結果となった。

特に「売上高」と「雇用人員」は20ポイント上昇しているが、「雇用人員」に関しては、減少はしてはいないが雇用維持のために休業実施し、雇用調整助成金を利用したとのコメントが寄せられている。

○「非製造業」では、前月との比較において、「雇用人員」が横ばい、それ以外の7指標が改善する結果となった。

情報サービス業からは、新型コロナウイルスの影響で先の見通しが立たないことから、IT派遣契約の受入れ延期や凍結が起きているとのコメントが寄せられている。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2020年8月	-60.0	-4.7	-11.7	-21.6	-66.7	-41.7	-53.4	-25.0	-71.7
2020年7月	-80.0	0.0	-21.7	-28.3	-78.3	-56.6	-66.7	-35.0	-85.0
増減	20.0 ↑	-4.7 ↑	10.0 ↑	6.7 ↑	11.6 ↑	14.9 ↑	13.3 ↑	10.0 ↑	13.3 ↑

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体				
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減		
売上高	2020年8月	-66.7	20.0 ポイント	↑	-53.3	20.1 ポイント	↑	-60.0	20.0 ポイント	↑	2020年7月	-86.7	-73.4	-80.0
	2020年7月	-86.7			-73.4			-80.0						
在庫数量	2020年8月	6.7	-3.3 ポイント	↑	-30.8	-7.7 ポイント	↑	-4.7	-4.7 ポイント	↑	2020年7月	10.0	-23.1	0.0
	2020年7月	10.0			-23.1			0.0						
販売価格	2020年8月	-10.0	6.7 ポイント	↑	-13.3	13.3 ポイント	↑	-11.7	10.0 ポイント	↑	2020年7月	-16.7	-26.6	-21.7
	2020年7月	-16.7			-26.6			-21.7						
取引条件	2020年8月	-23.3	3.4 ポイント	↑	-20.0	10.0 ポイント	↑	-21.6	6.7 ポイント	↑	2020年7月	-26.7	-30.0	-28.3
	2020年7月	-26.7			-30.0			-28.3						
収益状況	2020年8月	-73.3	10.1 ポイント	↑	-60.0	13.3 ポイント	↑	-66.7	11.6 ポイント	↑	2020年7月	-83.4	-73.3	-78.3
	2020年7月	-83.4			-73.3			-78.3						
資金繰り	2020年8月	-50.0	13.4 ポイント	↑	-33.4	16.6 ポイント	↑	-41.7	14.9 ポイント	↑	2020年7月	-63.4	-50.0	-56.6
	2020年7月	-63.4			-50.0			-56.6						
設備操業度	2020年8月	-53.4	13.3 ポイント	↑	/				-53.4	13.3 ポイント	↑	2020年7月	-66.7	-66.7
	2020年7月	-66.7							-66.7					
雇用人員	2020年8月	-26.7	20.0 ポイント	↑	-23.3	0.0 ポイント	-	-25.0	10.0 ポイント	↑	2020年7月	-46.7	-23.3	-35.0
	2020年7月	-46.7			-23.3			-35.0						
業界の景況	2020年8月	-80.0	10.0 ポイント	↑	-63.3	16.7 ポイント	↑	-71.7	13.3 ポイント	↑	2020年7月	-90.0	-80.0	-85.0
	2020年7月	-90.0			-80.0			-85.0						

今月の業種別回答件数

	売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況				
	増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化			
製造業	食料品	0	3	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	0	0	2			
	繊維工業	0	3	2	1	0	1	0	1	0	3	0	2	0	3	0	2	0	3		
	木材・木製品	0	5	1	1	1	1	0	1	0	5	0	3	0	3	0	2	0	5		
	紙・紙加工品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	印刷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1		
	窯業・土石製品	1	2	1	0	0	0	0	1	0	3	0	2	0	0	0	2	0	3		
	鉄鋼・金属工業	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	0	0	2		
	一般機器	0	4	1	0	0	0	0	1	0	4	0	3	0	4	0	1	0	4		
	電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
	送用機器	1	3	0	1	0	1	0	2	1	3	1	2	1	1	0	0	0	3		
その他	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1			
非製造業	卸売業	1	2	0	1	0	1	0	1	0	3	0	0	/		0	0	0	3		
	小売業	1	4	0	3	1	1	0	3	0	4	0	3			0	1	0	3		
	商店街	0	4	2	2	1	2	0	0	0	4	0	2			0	1	0	4		
	サービス業	0	2	/		0	2	0	0	0	2	1	1			0	1	0	3		
	建設業	0	2			1	1	0	1	0	2	0	2			0	2	0	1	0	2
	運輸業	0	4			2	2	1	2	0	3	0	3			0	3	0	3	0	4

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> 食品産業ということで、衛生管理への設備投資及び消毒薬品等の購入費用の増加などのコスト増が懸念される。 新型コロナウイルスの影響で業務用の製品の動きが鈍ったままの状況にある。小売店向けの製品については大きな影響は感じられないものの、生産調整による在庫のダブつきが今後どの様に解消していけるかがネックである。
製茶業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響が続いている。通信販売での売上げは増えているが、消費地の取引先からの注文が増えず、販売に苦労している組合員が多い。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> 前回報告内容と同様、先染め綿等の受注は有るものの浴衣生地等の受注は無し。次の展開を考えるも資本力を含め非常に難しい状況。
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響と8月の休業増加による稼働率の低下で生産性が悪かった。売上高対前年同月比マイナス26.5%。
製材業、木製品	<ul style="list-style-type: none"> 先行きの不透明感が業界全体の足枷になっている。積極的な立木の伐採は控えられていて、特に大径木の供給が少なく、製材所によっては必要量の入荷ができない状況にある。将来への不安、マインドの回復が望まれる。 雇用維持のために休業し雇用調整助成金にて対応した。
紙・紙加工品	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染再拡大の懸念もあり各種催事の自粛や中止による需要減が続いている。リモートワークが増えたことで情報用紙の需要が減り前年割れを余儀なくされた。
印刷・同関連業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染再拡大により大幅な売上げ減少が続いている。競争入札案件は更に価格競争が激化し、採算の合わない価格となっている。 内製化の推進により、外注依頼作業が減少している。
セメント・同製品	<ul style="list-style-type: none"> 売上高対前年比80%、累計でも73%の状況。新型コロナウイルスの影響は少ないが、10%減に出荷予想訂正した。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> 先月、先々月と比較すれば若干は改善しているが、依然として非常に厳しい状況にあり、県内の同業界の生産高は、前年同月比40.5%と低迷している。 若干上向き加減になってきた業種もあるが依然として低迷している業種も多い。今後の輸出の動向で左右される組合もあり厳しい状況である。
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 顧客からの情報が流動的で見通しが立たない。価格がより厳しくなっている。 新型コロナウイルスのクラスター発生後、一段と営業、生産活動厳しさを増しており、夏季休暇の長期化、隔日出勤等により凌いでいるが、不安材料が多い。
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 外出自粛や猛暑の影響により冷蔵庫・家庭用空調機の販売は好調に推移した。生産実績は販売好調を受けて昨年比では同等若しくはそれ以上となった。 9月は下期に向けての在庫補充などもあり引き続き高水準の生産を期待している。
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 在宅や自炊が増えたことから、スーパーマーケットへの食材の物流関連、また医療関係のバッテリーを製造している組合員など、ごくわずかではあるが新型コロナウイルスがプラス要因となり、業績に影響が出ていない組合員もある。 四輪車部品は生産が前年並みに戻ってきたが、二輪車部品はまだ計画を下回っている状況。ただし車種によって販売状況に差が出ており、受注部品の違いによる企業間で繁閑の差が出ている状況。 コロナ禍にあっても自動車関連業種は生産がほぼフル操業である。自粛要請にて自動車販売台数が伸びていないため、今後の先行き生産調整は必至と考えられるが、メーカーがどのようにするかの方針が自動車業界としても決まっていない模様。 新規の受注が無く、底が見えない状況が続いている。

非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> 8月の出荷量は前年同月実績微増となったが、袋セメントの用途は工法の変化で吹付工や法面工など一部工事に限られるようになり需要減に歯止めがかからない状況が続いている。
鮮魚小売業	<ul style="list-style-type: none"> 依然として厳しい状況である。感染防止対策と利益捻出との両立の難しさに今後の事業に不安を感じる。
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス再拡大の影響からか、外来者が減少している。 街中での感染者が出たことに加え厳しい暑さが影響し、8月上旬から客足が遠のいた。 補助金を活用して、「消費喚起キャンペーン」を実施する。 新型コロナウイルスの影響で、依然来店頻度は戻らないままである。 新型コロナウイルスの影響でイベントが中止となり大きな影響が出ている。更に酷暑も加わり人の動きが極端に少なく苦境は続いている。
宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で感染防止のため旅行を自粛する傾向が強く表れている。また、旅行を予定した方も新型コロナウイルスの影響による夏休みの短縮で旅行を断念する傾向が見られた。 食事がバイキング形式の大型宿泊施設が避けられる傾向で、多少高単価であっても、部屋で食事ができ、部屋に露天風呂のある旅館や、接触を避けられる離れ風の宿泊施設は、対前年同月を上回る結果が見られた。 国が実施しているGOTOキャンペーンは、スタート時点では混乱を招いたが、徐々に誘客効果が出てきている。
情報サービス業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で先の見通しが立たないことから、IT派遣契約の受入れ延期や凍結が起きている。
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> 官庁工事は例年通り発注がある。民間工事はリフォームが多く発注されているが、大型物件は延期されたままの状態。
電気工事業	<ul style="list-style-type: none"> 新規着工件数の減少による引込線工事、ビル住宅内配電工事が減少している。
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> 例年、お盆前は荷動きが活発になるが、今年はお盆の前後とも閑散とした状況であった。そのため、倉庫内には大量の商品が保管されている状況。荷物情報は相変わらず前年を下回る水準が続いているが、8月は多少ではあるものの、減少率が改善されてきており、秋以降に期待したい。 燃料の値上げ傾向が懸念される。
道路旅客運送業	<ul style="list-style-type: none"> 県内全体の対前年比運送収入は、6月のマイナス43%から7月のマイナス35%と8ポイント改善してはいるが、8月に入り例年行われるスポーツ・文化・地域の伝統行事など、様々な行催事の中止により人の動きは相変わらず鈍く、厳しい経営状況が続いている。

4. 中央会・行政への要望

- 新型コロナウイルスに関して様々な感染抑制の方策があるが、三密回避は今までの社会生活とは異なる状態である。ウィズコロナなのか時限付の異常状態なのか、国・行政機関においてどのような行動指針なのか、やるふりばかりの内閣から新政権にバトンが渡されようとしている中、科学的なエビデンスを取り入れ真摯に議論・決定してもらいたい。
- 新型コロナウイルス感染症そのものの脅威ではなく、広く市民の間に浸透した萎縮心理の影響が大きいと感じる。人や世間の作り出す空気（雰囲気）、差別や風評の被害で、恐らく多くの企業が苦しんでいる。
- 根強い自粛ムードが活動再開の足枷になっているのではないか。その結果として膨大な需要不足による倒産・失業が増加し、中長期的な成長が大幅に減少することへの影響が大きいと感じる。
- 新型コロナウイルスの正しい情報発信をしてほしい。単に感染者数やPCR陽性者数ではなく、症状の程度（特に重症者がいるのかいないのか）などの情報が欲しい。重症化率や病床使用率、陽性者数の内訳（無症状・軽症・重症者それぞれの人数）等細かな情報。新型コロナウイルスを冷静に正しく恐れ、何かを止めるのではなく、持続可能な政策（ウィズコロナ社会）を示すことが重要と考える。

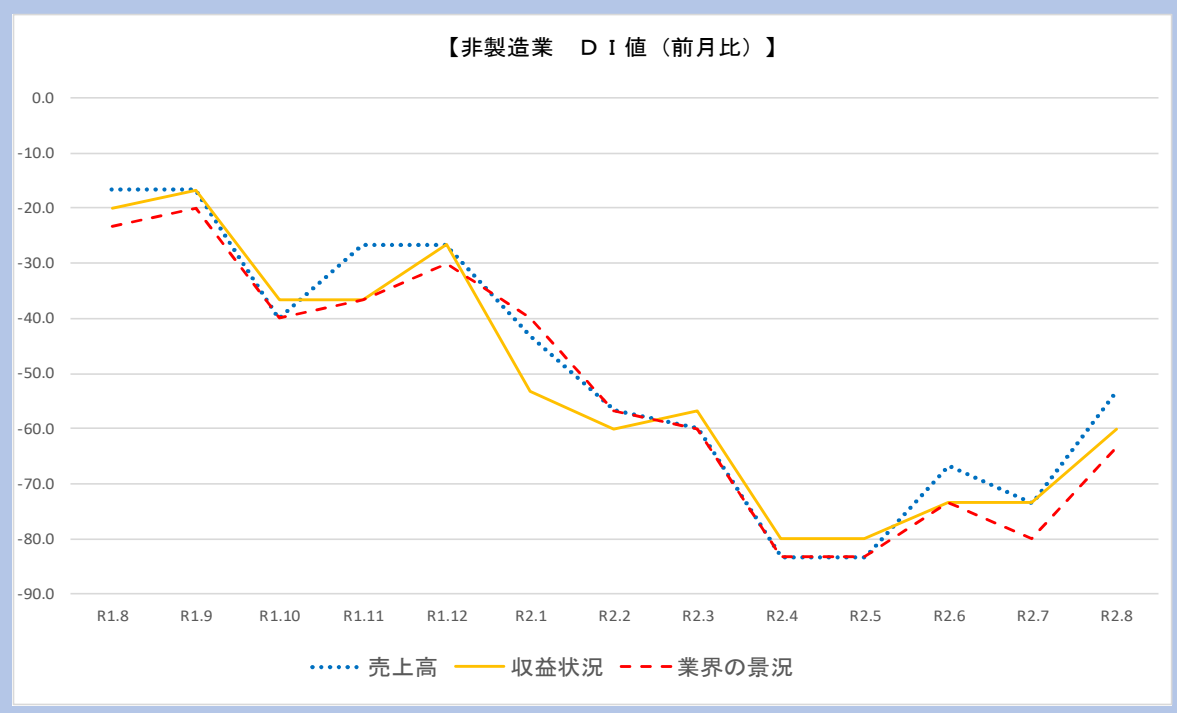
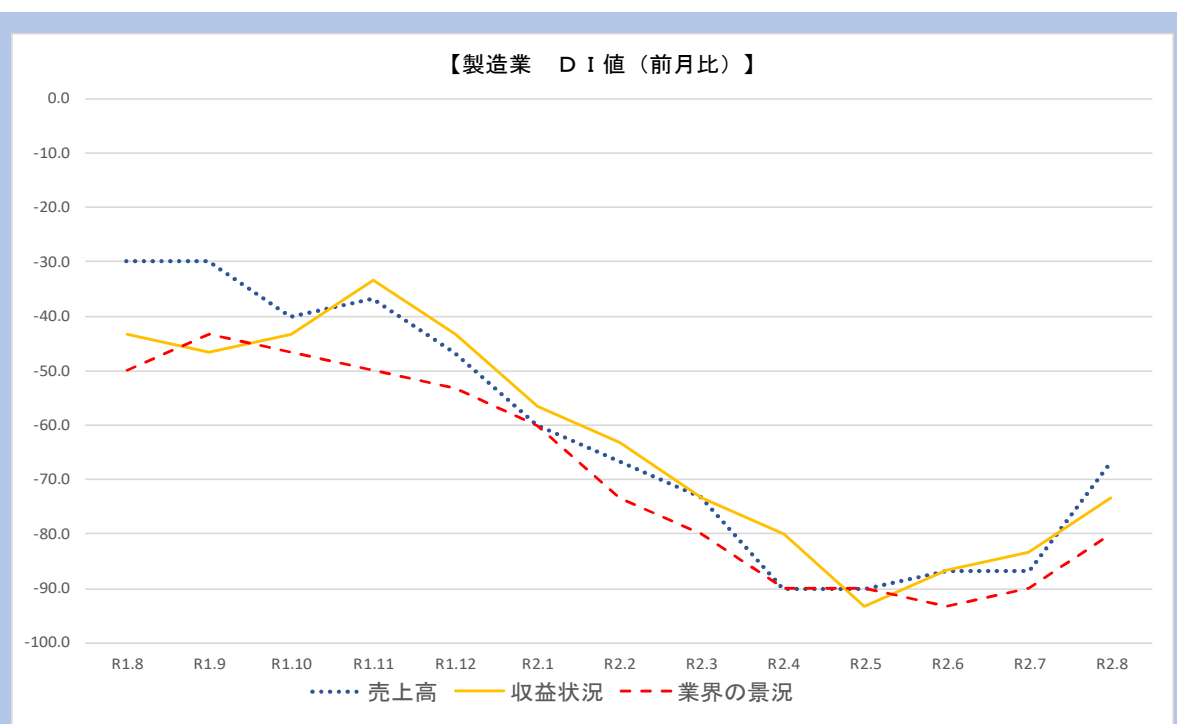
5. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2019年8月期～2020年8月期までの推移

全体	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8
売上高	-23.4	-23.3	-40.0	-31.6	-36.7	-51.7	-61.7	-66.7	-86.6	-86.7	-76.7	-80.0	-60.0
収益状況	-31.7	-31.6	-40.0	-35.0	-35.0	-55.0	-61.7	-65.0	-80.0	-86.7	-80.0	-78.3	-66.7
業界の景況	-36.7	-31.6	-43.3	-43.4	-41.6	-50.0	-65.0	-70.0	-86.7	-86.7	-83.3	-85.0	-7.7

製造業	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8
売上高	-30.0	-30.0	-40.0	-36.7	-46.7	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7	-66.7
収益状況	-43.3	-46.7	-43.3	-33.3	-43.4	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4	-73.3
業界の景況	-50.0	-43.4	-46.7	-50.0	-53.3	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0	-80.0

非製造業	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8
売上高	-16.6	-16.7	-40.0	-26.7	-26.7	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4	-53.3
収益状況	-20.0	-16.7	-36.6	-36.7	-26.6	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3	-60.0
業界の景況	-23.4	-20.0	-40.0	-36.7	-30.0	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0	-63.3



■2019年8月期～2020年8月期までの推移

売上高	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8
製造業	-30.0	-30.0	-40.0	-36.7	-46.7	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7	-66.7
非製造業	-16.6	-16.7	-40.0	-26.7	-26.7	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4	-53.3

収益状況	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8
製造業	-43.3	-46.7	-43.3	-33.3	-43.4	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4	-73.3
非製造業	-20.0	-16.7	-36.6	-36.7	-26.6	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3	-60.0

業界の景況	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8
製造業	-50.0	-43.4	-46.7	-50.0	-53.3	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0	-80.0
非製造業	-23.4	-20.0	-40.0	-36.7	-30.0	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0	-63.3

